

四旬節第5週 聖餐礼拝

2017年4月2日 第一礼拝(午前8:00～) 聖餐礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)

前奏	(新聖歌41)	司会者
聖餐の招詞	司会者
※賛美	新聖歌46「わが主よ 今ここに」	一同
聖書交読	交読文53「ルカの福音書第22章」	一同
祈禱	司会者
分餐	(新聖歌53)	一同
感謝の賛美	新聖歌221「ああ主の瞳 <small>ひとみ</small> 」	一同
聖書朗読	『ヨハネの福音書』18章28-40節(新約219頁)	司会者
黙想	一同
説教	「たとえピラトであっても」	近伸之牧師
※応答の賛美	新聖歌112「カルバリ山の十字架」	一同
感謝の献金	(新聖歌58)	一同
感謝祈禱	片山敬子姉
諸報告	司会者
※頌栄の賛美	新聖歌62「 <small>あま</small> 天つみ民も」	一同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	一同
※祝福の祈り	近伸之牧師
※後奏	(新聖歌59-7)

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立ください)

第一礼拝	聖餐の準備：片山 勝三兄 司会・説教：近 伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	配餐：片山 勝三兄
司集	会：近 伸之牧師 会：笹川 清子姉	音響・録音：山崎 敬典兄 映像・録画：近 伸之牧師	C S 担当：佐藤 繁実兄 配餐： 掃除：片山 初子姉

説教メモ

- 1) ヨハネはイエスとピラトとの会話を強調する。それはユダ同様、ピラトにも福音の扉が開かれている証し。
- 2) ピラトの質問は、イエスがローマにとって脅威かに終始する。彼の興味は、保身と安穩な生活にあった。
- 3) 「何が真理か(意識)」多くの者が失望と共にこう口にする。だが主に信頼する者は恥を見ることがない。

先週の暗唱聖句

「父がわたしに下さった杯を、どうして飲まずにいられよう」 (『ヨハネの福音書』18章11節)

今週の暗唱聖句

「キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした」 (『ペテロの手紙 第一』2章22節)

個人、団体からの来信

2017年4月2日

教団より定期便／新潟山形宣教会協議の公示[4月30日(日)開催]／「新潟朝禱会通信」第167号
同盟・西大寺キリスト教会グローリア礼拝堂献堂式ご案内[5月20日(土)13時30分より]／
藤城清治「光のメルヘン展」開催の案内[4月8日(土)より6月4日(日)まで新潟市新津美術館にて]

先週の集会出席者数

3/26(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児1 成人男性-			
		幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児3 成人女性2			
	第一礼拝	男3 女4		※月に一回、実用書道教室を開催	
	歓迎礼拝	男12 女21 計33	3/27(月)	月曜家庭集会	男1 女4
	(子ども)	男児1 女児4	3/29(水)	バルナバ祈禱会	男3 女4
	夕拝	(休会)	3/31(金)	しゃべり場夕ビタ	女5 男児1 女児1
			3/31(金)	金曜祈禱会	男- 女5

諸集会のご案内

		※月に一回、実用書道教室を開催。
4/3(月)	月曜家庭集会	(休会)
4/5(水)午後7:30	阿賀野祈禱会	教会堂
4/7(金)午後1:30	しゃべり場夕ビタ	渡邊 智子姉宅
4/7(金)夜	金曜祈禱会	教会堂

4/9(日) 四旬節第6週(受難週)			
第一礼拝	司会：近 伸之牧師	音響：片山 勝三兄	
午前8:00	説教	献金：沼田佐代子姉	
教会学校	午前9:00	担当：片山 初子姉	
第二礼拝	司会：近 伸之牧師	映像・音響：片山 健司兄	感謝祈禱：小林 洋子姉
午前10:30	集会：横堀 信子姉	説教の録画：近 伸之牧師	カン担当：長谷川睦子姉
	映像：近 伸之牧師		掃除：片山 麻美姉

礼拝について	礼拝時に、役員就任式・CS教師任命式・子ども進級式をもちます。 聖書：『ヨハネの福音書』19章17-42節
午後の予定	
夕拝	※諸般の事情により、夕拝は休会とします

報告

1. 本日の予定
聖餐礼拝の恵みを感謝します。十字架の恵みを心に刻みつけて新たな一ヶ月を歩みましょう。また本日午後1:00より、山の下福音教会において辺土名誠治伝道師夫妻の就任式がもたれます。近牧師が奨励を担当するため、当教会で予定していたミーティングは調整が必要となりますが、ご理解とご協力をお願いします。
2. 先月の来会者のため
伊東一馬兄の知人、早川康一さんが礼拝に導かれました。また、横堀信子姉の知人、小林みちるさんが集会に導かれました。求道のために祈りましょう。
3. 宣教区(婦人会主催)講演会について
4月25日(火)午前10:00より新潟福音教会において同講演会の準備連絡会が行われます。各教会より1名以上出席して欲しい旨の依頼が来ています。ご担当の方はよろしくお願ひいたします。

カーネギーが書いた『人を動かす』という本が最初に発行されたのは、1936年ですが、日本のビジネスマンでこの本を知らない人は少なく、読んだ人もかなり多いのではないのでしょうか。その秘訣は、やはり人間学、つまり人間関係の心得のようなものが書かれてあり、これはいつの時代でも変わらない重要な基本であり、しかも原則だからではないのでしょうか。このカーネギーの著書の基本にあるものは、「人に対しては、相手は常に論理の動物ではなく感情の動物だ」とするところにあると言われています。その著書の中に次のような言葉があります。

・・・人間の持つ最も根強い衝動は、重要人物たれんとする欲求である。人間は何を欲するか。「食物・睡眠・金銭・健康長寿・来世の生命・性欲の満足・子孫の繁栄・自己の重要感」、この項目の中で、食物・睡眠・金銭・健康・性欲などは、なるほど納得できるだろう。最後の、自己の重要感というのは「重要人物」たれんとする欲求である・・・

ここに書かれている「重要人物になりたい」もしくは、「必要とされる人物になりたい」という欲求は、決して悪いものではなく、かえって重要ではないかと思えます。つまりこれは「わたし」を大切にすることによって深く関係するからです。確か

に、私の内に住んでいるエゴの固まりは、自分が認められない場合、ある時はすねたり、ストライキを起こしたり、あまのじゃくになったり、非協力的になります。

ニューヨークのある電話会社の調査によると、電話の会話の中で、どのようなことばが一番多く使われたかを調べたら、500の通話に、なんと「わたし」ということばが、一番多く使われて、3990回だったそうです。それだけ自己主張があったといってもいいのですが、それだけ、お互いに自分が重要だと感じているのです。積極的な意味から、キリストは言われました。「自分を愛するよう

にあなたの隣人を愛しなさい」。私たちの隣人愛は、自分を愛すると同じやり方でしなさいとキリストは言われるのです。その自分は、神によって愛される資格も値打ちもないものなのです。しかし、神は、ただ愛のゆえに、私たちに対する裁きと呪いと滅びをキリストに負わせて、私たちを愛してくださったのです。この神の愛の経験によって、愛せないもの、大切に感じないもの、嫌いなものへの愛が芽生えてくるのです。

ですから、聖書は、自分を愛することを強調しています。だから人も愛せるのだとも言うのです。その愛の源泉こそ、キリストの十字架のもとにあることを知っていただきたいのです。



ライフ・ライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



4/8(土)「健やかに、朗らかに」富所正史さん

ウォーキング・ランニング講師の富所正史さんは、学生時代クロスカントリースキーに打ち込み、国体にも出場しました。その後、小学校教員や大学職員として働き、同時にクロスカントリー選手育成などにも関わりました。現在は、社会保険労務士として働きながら、「15歳若く見える姿勢づくりと正しい歩き方講座」を、学校や地域の依頼を受けて開いています。講座の様子を紹介するとともにお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGin。ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

春のうららの隅田川
のぼりくだりの船人が
權のしづくも花と散る
ながめを何にたとふべき

(武島羽衣作詞、滝廉太郎作曲『花』)



2017年度教会目標 「受けるよりも与えることを」

「主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」

(『使徒の働き』20章35節)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

